

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに定める幅広い教養や専門的な知識・技術などを確実に身に付けさせるために必要な授業科目を配置し、順次性に配慮し体系的かつ効果的に編成する。その際、科目履修の順次性に基づくカリキュラムの体系的学修を可能にするために、カリキュラム・マップおよびナンバリングを用いる。「教養コース」・「経営・経済コース」・「グローバルコミュニケーションコース」の3コースを設置し、コース共通に学修する「共通教養科目」とコース独自の「専門教育科目」という二つの系列によってカリキュラムを編成し、両者をバランスよく配置して建学以来の教養教育を重視しつつ、現代社会で活躍するための教育を施す。

CP1【共通教養科目】

本学の人間形成教育を具現するために「基礎学修系」・「基礎教養系」・「生涯教養系」の三系列で構成する。

CP1-1

「基礎学修系」は三つに分け、「基礎科目」では少人数制の「基礎ゼミナール」や「文章作法」・「発表法」・「情報リテラシー」を配置する。「基礎コミュニケーション科目」では言語科目を配置し、「読む・書く・話す・聞く」といったコミュニケーション能力を養成する。また、「基礎情報科目」では「基礎数学」・「コンピュータ実習」を配置し、情報社会に必要な情報処理・活用の基礎知識を修得する。

CP1-2

「基礎教養系」は社会や人間に対する広い視野と洞察力を養うため、人文・社会・自然科学の基礎的科目を配置し、専門教育への橋渡しをするとともに本学の教育基盤となる教養を培う。

CP1-3

「生涯教養系」は人間としての生き方や働き方、社会生活のマナー、ジェンダー平等、健康的な生活など、これからの生涯を通じて必要となる考え方を学ぶ。

CP2【専門教育科目】

教養コース、経営・経済コース、グローバルコミュニケーションコースの3つのコースの教育目標に沿って、体系性、順次性を踏まえて科目を配置する。「専門教育科目」は、コース共通の「共通専門科目」、各コース独自に体系化されている「コース専門科目」、「他コース開放科目」、そして「課題解決・研修」によって編成される。

CP2-1 【共通専門科目】

コース共通の科目群として、「研究」・「基本科目」・「情報系」・「北海道・地域系」という4つの科目群を配置する。

CP2-1-1

「研究」は、学生自身の学ぶ意欲に応えることができるよう、幅広い分野について「専門ゼミナール」を展開し、その成果を「卒業研究」としてまとめる。

CP2-1-2

「基本科目」は、社会を構成する一社会人として欠かすことのできない、学んでおくべき科目群で構成する。

CP2-1-3

「情報系」は、学修や研究を進めるうえで不可欠な情報に関する知識を修得するための科目と、ビジネスの場で必須とされるコンピュータに関する実務的能力を身に付けるための科目を配置する。

CP2-1-4

地域の発展を目指し、積極的に貢献する力を養うために「北海道・地域系」を置き、北海道や観光に関わる知識を身に付ける。

CP2-2 コース専門科目

教養コースは、「人文科学系」と「社会科学系」の2系列を置き、人間が培ってきた学術文化を専門的に学ぶことを通して現代社会を生きる自己を見つめ、人間理解の基本として人文科学と社会科学に関する広範な系列科目をバランスよく学修できるよう配慮する。「人文科学系」は「歴史」・「文化」・「文学・思想」・「メディア」の4分野とし、歴史や文化を通して世界諸地域への関心を高め、文学・思想やメディアに触れるなかで人間の本質に対する理解を深めるための科目を配置する。また、「社会科学系」は「心理」・「法・政治」・「教育・福祉」・「環境・社会」の4分野とし、人間や社会の

仕組みやそれに関わる諸問題を理解し、その問題解決について考察する力を身に付けるための科目を配置する。

経営・経済コースは、ローカルとグローバル双方の視点から経営学やマーケティングおよび経済学の知識を修得し、ビジネスに関する課題を解決する力を身に付けるため「経営・経済系」の科目を配置する。

グローバルコミュニケーションコースは、英語圏の文化・教養を中心とした「英語と英語圏文化系」、実践を中心とした「グローバルコミュニケーション系」の二系列を置き、両系列をバランスよく学修できるよう配慮する。「英語と英語圏文化系」は、グローバル社会を生き抜くために必要な文化理解の促進と、異文化の人々との円滑なコミュニケーション、さらに歴史を含め言語そのものへの理解を深めることを目的とした科目群を配置する。「グローバルコミュニケーション系」は、「言語運用 A・B」と「英語資格」の二分野を置く。「言語運用」分野には、社会的に通用する英語力の向上を目指し、「聞く・話す・読む・書く」の英語の4技能それぞれについて少人数制で行う演習科目を配置する。特に、主に1年次に基本的な英語運用能力を身に付ける科目、2年次にはその力を発展させるための科目を、段階的かつ効率的に学修できるよう構成する。「英語資格」分野には、学修の動機づけを高め、社会的に通用する資格取得を支援するための科目を開設する。

CP2-3 他コース開放科目

様々な角度から文化や人間に対する理解を深め、幅広い教養と国際的な視野を涵養するために「他コース開放科目」を設ける。

教養コース、経営・経済コースにはグローバルコミュニケーションコース科目の「検定英語演習」・「TOEIC®演習」を自由科目として設置する。

CP2-4 課題解決・研修

「課題解決・研修」として、より主体的、実践的に社会と関わり、問題解決を図る力を養うために「課題解決演習」を設置する。また、国際社会に関心を持ち、英語関連資格の取得や海外での学びへの挑戦を支援するための科目として、全コースに「語学研修」を設置する。

CP3 付設課程

専門的かつ実践的な知識や技能を身に付けることができるように、「図書館司書課程」と「ビジネス教養課程」の二つの付設課程を設置する。